



# Keio Medical Science Prize

## Call for Nominations

### 第 26 回 (2021 年) 慶應医学賞候補者推薦要項

1. 審査基準: - 生命科学の研究に新展開をもたらした業績  
- 基礎医学・臨床医学の発展に対する多大な貢献
2. 審査: 慶應義塾内外の審査委員 13 名、専門委員約 80 名により数次にわたる厳正な審査を行う
3. 候補資格: 候補者は現在活発な研究活動を行っており、今後も一層の活躍が期待される研究者が望ましい
4. 推薦方法:
  - 1) 原則として 1 研究テーマにつき 1 名の推薦とする
  - 2) 1 機関、団体からの推薦件数に原則として制限はない。ただし、学会からの推薦件数は若干名とする
  - 3) 学会からの推薦とは別に、学会会員からの個人推薦が可能

#### 5. オンライン推薦:

下記 URL より推薦フォームへお進み下さい。

〈慶應医学賞ホームページ〉 <https://www.ms-fund.keio.ac.jp/prize/>

- 1) 推薦書フォームの入力
- 2) 以下の資料を添付
  - 主要論文のリスト (5 本、掲載論文の DOI を含む)
  - 候補者の略歴 (作成日明記のこと)
  - 候補者の当該研究に関連のある主要業績目録



オンラインでの提出が難しい場合は、下記までお問い合わせください。

〈お問い合わせメールアドレス〉 [k-nomination@adst.keio.ac.jp](mailto:k-nomination@adst.keio.ac.jp)

#### 6. 推薦締切日: 2021 年 3 月 7 日 (日)

#### 7. その他:

- ペアノミネートおよびグループでのミネートは受付けておりません。
- 原則として送付書類は返却致しませんのでご了承下さい。なお、推薦書類については慶應医学賞審査以外で使用されることはありません。
- 候補者をご推薦いただいた方には、受賞者決定後、結果をお知らせいたします。(9 月下旬予定)
- 審査・選考過程等についてのお問い合わせには、原則としてお返事を差し控させていただきます。

慶應義塾医学振興基金事務室  
〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35 番地  
TEL: 03-5363-3609 FAX: 03-5363-3215  
E-mail: [k-nomination@adst.keio.ac.jp](mailto:k-nomination@adst.keio.ac.jp)  
<http://www.ms-fund.keio.ac.jp>



# Keio Medical Science Prize

## Call for Nominations

### 第26回 慶應医学賞 候補者推薦のお願い

2021年2月

拝啓 初春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

慶應義塾医学振興基金では、慶應医学賞により、世界の医学・生命科学の領域において医学を中心とした諸科学の発展に寄与する顕著、かつ創造的な研究業績を上げた研究者を顕彰することにより、世界の医学・生命科学の発展に寄与し、ひいては人類の幸福に貢献することを目指しております。

このたび、第26回(2021年)慶應医学賞候補者の推薦を募集いたします。基礎医学・臨床医学分野ならびに医学に密接に関連した生命科学の諸領域で活躍されている研究者を選考対象と致します。つきましては、候補者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。詳細は裏面の推薦要項をご覧ください。

なお、各学会におかれましては、学会からのご推薦と学会会員個人からのご推薦をお待ちしております。会員の皆様へ広くご周知頂けますと幸いです。

諸事ご多忙の折とは存じますが、慶應医学賞の趣旨をご理解の上、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

敬具

慶應義塾長

慶應義塾医学振興基金運営委員会委員長

長谷山 彰

#### 第26回 慶應医学賞

1. 目的: 顕著かつ創造的な研究業績を顕彰することによって、世界の医学・生命科学の発展に寄与し、ひいては人類の幸福に貢献する
2. 対象分野: 基礎医学・臨床医学ならびに医学に密接に関連した生命科学の諸領域
3. 贈賞人数: 2名(国内1名、国外1名)
4. 副賞: 1賞につき副賞として1000万円とメダルを授与
5. 授賞式: 2021年11月頃に慶應医学賞授賞式を開催予定
6. 候補資格: 現在活発な研究活動を行っており、今後も一層の活躍が期待される研究者が望ましい
7. 推薦締切: 2021年3月7日(日)

#### 過去の受賞者

第1回(1996年)	Stanley B. Prusiner、中西重忠	第14回(2009年)	Jeffrey M. Friedman、寒川賢治
第2回(1997年)	Robert A. Weinberg、谷口維紹	第15回(2010年)	Jules A. Hoffmann、審良静男
第3回(1998年)	M. Judah Folkman、御子柴克彦	第16回(2011年)	Philip A. Beachy、田中啓二
第4回(1999年)	Elizabeth H. Blackburn、吉川信也	第17回(2012年*)	Steven A. Rosenberg、間野博行
第5回(2000年)	Arnold J. Levine、中村祐輔	第18回(2013年)	Victor R. Ambros、長田重一
第6回(2001年)	Tony Hunter、竹市雅俊	第19回(2014年)	Karl Deisseroth、濱田博司
第7回(2002年*)	Barry J. Marshall、田中紘一	第20回(2015年)	Jeffrey I. Gordon、大隅良典
第8回(2003年)	Ronald M. Evans、宮下保司	第21回(2016年)	Svante Pääbo、本庶 佑
第7回(2004年)	Roger Y. Tsien	第22回(2017年*)	John E. Dick、小川誠二
第10回(2005年)	藤吉好則	第23回(2018年)	Feng Zhang、柳沢正史
第11回(2006年)	Thomas A. Steitz	第24回(2019年)	Hans C. Clevers、岸本忠三
第12回(2007年*)	Brian J. Druker、満屋裕明	第25回(2020年)	Aviv Regev、宮脇敦史
第13回(2008年)	Fred H. Gage、坂口志文		

\* 臨床年受賞者